

アストロスカイ・プロジェクト

— 県民が自発的に星空保護・観望を日常化するための取り組み —

天文学は広大無辺の宇宙を知ることから逆に小さな地球に住む同じ人間を見直す機会となりえます。また心理学、脳科学的な調査から星の観望は心の癒しになり、さらには向社会的な行動を引き起こすという報告もあります。ところが、現代では星を見るという習慣すら失われています。その一因に(上方へ向けられた街灯などの光が夜空を照射することで星が見えにくくなる)光害があげられます。

そこで、私たちは県民が自発的に星空環境を保護し、かつ星を見るという行動を促すことが可能なプログラムの開発を目指すことを構想しており、その一つとして、県内におけるアストロツーリズムがあると考えています。

本プロジェクトでは、天の川が観望可能な夜空を「アストロスカイ」と称しています。目的の達成のために、多くの方々とパートナーシップを築きながら、アストロスカイの候補地を県内に見つけ出したいと思います。

このため、私たちは県内における夜空の明るさの定量的な調査を行なっています。実際の調査は一般の方々が星を観察しやすい時刻である 21 時前後に、手動測定器(図 1)を用いています。SQM-L は比較的安価で購入でき、また容易に夜空の質を計測することができます。

SQM-L での測定値が 20 より大きな場所では天の川が肉眼で見ることが期待できます。ですから、このマップにより兵庫県において天の川を見ることができる境界線をおむね把握することができます(図 2)。



図 1: 夜空の明るさ測定器(SQM-L、左)と測定の様子。(右)。

実際の測定は 21 時前後に実施

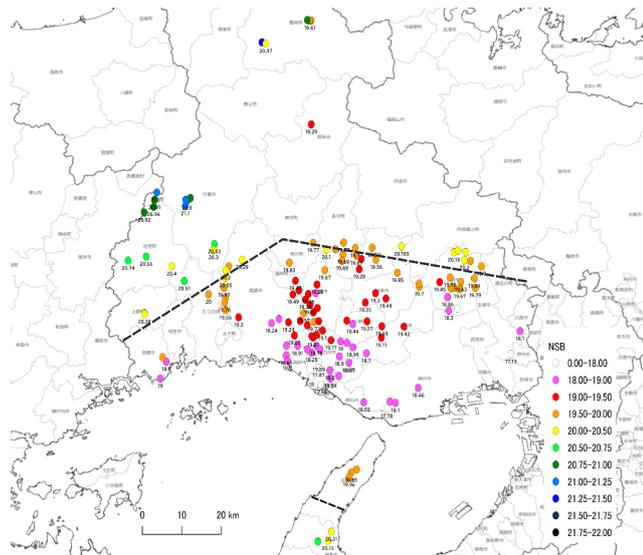


図 2: SQM-L による県内の夜空の明るさ測定結果(2024 年 7 月現在)と大まかな天の川目視可能境界線(破線)。